



WE TRY NEW

いつも未来に挑戦

TAYCA REPORT

第147期 中間報告書

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで



TAYCA

テイカ株式会社

証券コード:4027

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は平成24年9月30日をもちまして、第147期の第2四半期連結累計期間を終了いたしましたので、ここに営業の概況をご報告申し上げます。

平成24年12月

代表取締役社長 **清野 學**



当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかな回復の動きが見られたものの、欧州債務危機に伴う世界経済の減速、長期化する円高などを背景に、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは事業環境や顧客ニーズの変化に対応した積極的な販売活動の展開に努めましたが、本格的な製品需要の回復には至らず、またチタン鉱石価格の高騰に伴う製造コストの上昇等もあり、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高176億6千2百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益16億6千8百万円（前年同期比15.8%減）、経常利益16億8千2百万円（前年同期比14.4%減）、

四半期純利益10億1千2百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

当社の中間配当につきましては、誠に不本意ではありますが、見送らせていただくことといたしました。

今後の見通しにつきましては、原材料価格の高止まりや海外メーカーとの激しい競争により、収益面で厳しさが増すものと予想されます。このような状況の下、通期の連結業績につきましては、現時点で売上高360億円、営業利益29億円、経常利益28億円、当期純利益16億円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

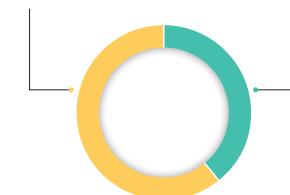
セグメント別の概況

事業区分	主要な事業内容	会社名
酸化チタン関連事業	酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面処理製品、光触媒用酸化チタン等の製造、販売	当社 テイカ商事(株)
その他事業	界面活性剤、硫酸、低分子量芳香族スルホン酸、無公害防錆顔料、導電性高分子酸化重合剤、エレクトロ・セラミックス製品等の製造、販売 化学工業薬品等の輸送、保管	当社 テイカ倉庫(株) テイカ商事(株) ティーエフティー(株) 朝日商運(株) TAYCA(Thailand)Co.,Ltd.

セグメント別売上高構成比

酸化チタン関連事業
10,726百万円
(60.7%)

その他事業
6,935百万円
(39.3%)



酸化チタン関連事業

汎用用途の酸化チタンは、国内でインキ・塗料向け等が堅調に推移するとともに、輸出もアジア市場を中心に前期並みを維持し、売上高は前期を上回りました。機能性用途の微粒子酸化チタンは、輸出が欧州経済の悪化や円高の影響を受け、売上高は前期を下回りました。表面処理製品は、化粧品向けの拡販に努めたことにより、売上高は前期を上回りました。



こんなところに!

テイカの製品

「光触媒用酸化チタン」は、太陽光などに含まれる紫外線と水・酸素により発現する酸化力を利用して、汚れや臭いなどを分解・除去する働きがあります。住まいの外壁やカーテンなどに使われています。



その他事業

界面活性剤は、主用途の洗剤等日用品向けが順調に推移し、前期並みの売上高を維持しました。硫酸も前期並みの売上高を維持。無公害防錆顔料は、国内販売は好調でしたが、輸出は減少しました。導電性高分子酸化重合剤は販売価格の下落により、前期を大きく下回りました。エレクトロ・セラミックス製品は医療用向けの販売が順調に推移しました。



こんなところに!

テイカの製品

「硫酸」は、医薬品から重工業まで産業のあらゆる分野で活躍する基礎化学品です。私たちの身近なところでは、畑や花壇などの化学肥料に使われています。



財務ハイライト

連結売上高



連結経常利益



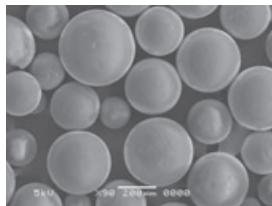
連結四半期(当期)純利益



液体酸触媒の代替へ 固体酸触媒 テイカキュア

特長

- 高い反応性
- 優れた耐熱性
- 繰り返し使用時の耐久性



SEM写真

従来、化学工業などの反応工程で使用される触媒材料は、硫酸やトルエンスルホン酸などの液体酸触媒が主流ですが、大量に廃棄物(廃酸)が発生するデメリットがあり、近年は廃棄物が発生しないイオン交換樹脂に転換する動きが活発になっています。しかし、イオン交換樹脂も耐熱性や反応速度が液体酸触媒に比べ劣る等、多くの技術課題が残っています。

今回、当社が開発した本製品は、球状シリカの表面にスルホン基の特殊加工を施すことで、高い反応性、優れた耐熱性、数百回におよぶ使用耐久性を実現しており、次世代の触媒材料として期待されています。

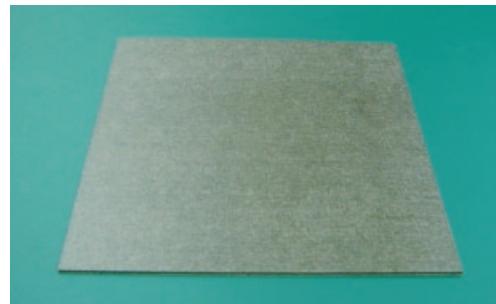
従来の触媒の課題

- 主に硫酸、トルエンスルホン酸が使用され、リサイクルできない
- 複雑な触媒除去工程が必要
- 大量の酸廃棄物が発生し、処理コストがかさむ

固体酸触媒「テイカキュア」

- 環境負荷の小さいグリーンケミストリー志向の触媒
- リサイクル可能で繰り返し使用できる
- 触媒の分離・回収が容易で生産性が高い

次世代の大容量無線LANに対応 ミリ波用広帯域電波吸収ゴムシート テイカギガキューブ



テイカギガキューブ「BW-6001R」

特長

- ミリ波領域(特に60GHz～)の電波に対して、優れた電波吸収効果を発揮
- 金属粉体を含有しないため、軽量
- 屈曲性があるため、曲面部分にも貼り付け可能
- ハサミ等で容易に切断でき、加工性良好

当社は、ミリ波と呼ばれる高周波数帯の電波を効率良く吸収する広帯域電波吸収ゴムシート「テイカギガキューブ」を開発しました。

電波を吸収するナノレベルの高導電性ポリマーを不織布に吹き付け、ゴムコーティングすることで、従来品では困難とされた広帯域のミリ波吸収性能と耐水性の両立に成功しました。また、加圧成型で厚みを1mmに抑え、軽量かつフレキシブル性も確保しました。

今後は屋外で使用されるタブレット端末や実用化が期待されるミリ波を用いた高速無線LANなどへの使用を見込んでおります。

四半期連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 (平成24年9月30日現在)	前期末 (平成24年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	24,414	25,221
固定資産	15,375	15,748
有形固定資産	9,981	10,080
無形固定資産	165	195
投資その他の資産	5,228	5,472
1 資産合計	39,790	40,970
負債の部		
流動負債	9,024	9,958
固定負債	4,422	5,247
2 負債合計	13,446	15,205
純資産の部		
株主資本	25,165	24,450
その他の包括利益累計額	1,086	1,226
少数株主持分	92	88
3 純資産合計	26,343	25,765
負債純資産合計	39,790	40,970

POINT 1 資産

資産合計(総資産)は、現金及び預金の減少により、前期末に比べ11億8千万円減少して397億9千万円となりました。

POINT 2 負債

負債合計は、支払手形及び買掛金の減少により、前期末に比べ17億5千8百万円減少して134億4千6百万円となりました。

POINT 3 純資産

純資産合計は、その他有価証券評価差額金が減少いたしました。利益剰余金の増加により、前期末に比べ5億7千8百万円増加して263億4千3百万円となりました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)
売上高	17,662	17,687
売上原価	13,621	13,299
売上総利益	4,040	4,387
販売費及び一般管理費	2,372	2,405
営業利益	1,668	1,982
営業外収益	84	68
営業外費用	69	84
経常利益	1,682	1,966
特別損失	82	156
税金等調整前四半期純利益	1,599	1,809
法人税、住民税及び事業税	498	644
法人税等調整額	86	12
少数株主損益調整前四半期純利益	1,014	1,152
少数株主利益	2	12
四半期純利益	1,012	1,139

(注) 1株当たり四半期純利益 20.39円

株式の状況 / 会社概要

株式の状況 (平成24年9月30日現在)

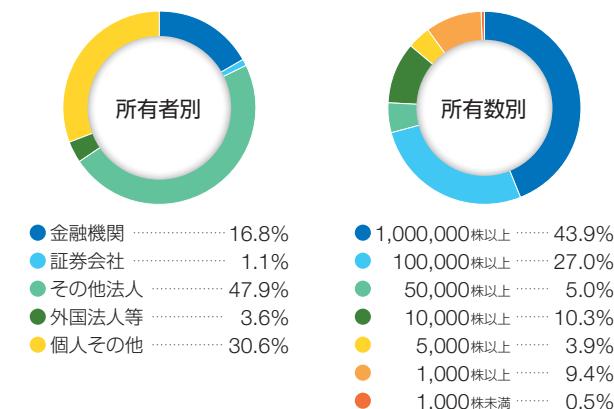
発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	51,428,828株
株主数	5,118名

大株主

株主名	所有株式数(千株)
双日株式会社	4,957
三井物産株式会社	3,568
三菱商事株式会社	3,260
山田産業株式会社	2,940
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	2,018
テイカグループ持株会	1,913
関西ペイント株式会社	1,224
住友商事株式会社	1,000
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	917
日本生命保険相互会社	909

(注) 当社は自己株式1,794千株を保有しておりますが、上記には含まれておりません。

分布状況



会社概要 (平成24年9月30日現在)

設 立	大正8年12月
資 本 金	9,855,953,999円
従 業 員	476名
事 業 内 容	各種化学工業薬品の製造、販売(酸化チタン、界面活性剤、硫酸、微粒子酸化チタン、表面処理製品、無公害防錆顔料ほか)

事 業 所	
本社事務所	大阪市中央区北浜3丁目6番13号 〒541-0041 電話(06)6208-6400(代)
本 店	大阪市大正区船町1丁目3番47号
大阪工場	〒551-0022 電話(06)6555-3250(代)
東京支店	東京都中央区日本橋3丁目8番2号 〒103-0027 電話(03)3275-0815(代)
岡山工場	岡山市東区西幸西1072番地 〒704-8136 電話(086)946-8311(代)
熊山工場	岡山県赤磐市小瀬木50番地1 〒709-0717 電話(086)995-9290(代)

役 員	代表取締役社長	清 野 學
	代表取締役専務取締役	古 城 康 治
	常務取締役	名 木 田 正 男
	取締役相談役	竹 内 千 秋
	取 締 役	吉 岡 亨
	取 締 役	山 崎 博 史
	取 締 役	辺 見 武 志
	取 締 役	村 上 雅 彦
	取 締 役	下 道 博 司
	取 締 役	秋 川 正 博
	常勤監査役	飯 沼 文 博
	常勤監査役	平 岡 延 元
	監 査 役	山 田 裕 幸
	監 査 役	梶 原 俊 久

(注) 常勤監査役 飯沼文博ならびに監査役 山田裕幸、梶原俊久の各氏は、社外監査役であります。また、当社は株式会社東京証券取引所および株式会社大阪証券取引所に対して山田裕幸、梶原俊久の両氏を独立役員とする届出書を提出しております。

株主メモ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会基準日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定 時 株 主 総 会	6月下旬
単 元 株 式 数	1,000株
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同 連 絡 先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話0120-094-777(通話料無料)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

公 告 方 法	電子公告 公告掲載URL http://www.tayca.co.jp/ (ただし、電子公告により行うことができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告を掲載いたします)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 市場第1部 大阪証券取引所 市場第1部



テイカ株式会社

<http://www.tayca.co.jp/>



本印刷物は、環境に配慮し、植物油インキを使用しています。